

第1学年社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 平成24年11月6日（火）4校時
学 級 一関市立藤沢中学校 1年B組
場 所 1年B組教室
指導者 教諭 菊池朋嗣

- 1 単元名 第1編 世界のさまざまな地域
第3章 世界の諸地域 4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ

2 単元について

（1）教材について

本単元は、学習指導要領〔地理的分野〕の内容「（1）世界のさまざまな地域」にもとづいて行われるものである。この単元では、世界の地域構成、世界各地の人々の生活と環境、世界の諸地域、世界の様々な地域の調査を学習対象とし、その多様性や地域的特色を理解させる学習を通して、世界の地理的認識を養うことをねらいとしている。

「世界の諸地域」では、世界の各州を対象として、それぞれの州内に暮らす人々の生活にかかわって、州の特色ある地理的事象をもとに主題を設定し、その追究を通してそれぞれの州の地域的特色を理解させることをねらいとしている。その際、羅列的な知識を身につけるのではなく、生徒が世界の地理的事象を身近に感じ、取り上げた世界の諸地域についてイメージを構成しながら、世界の地理的認識を深めることができるようにしていくことが重要である。

「北アメリカ州」の学習においては、「自然と歴史の特色、大規模な農業と多様な農業地域、先端技術と工業地域、多国籍企業と金融、世界に広がる生活様式、人種差別と格差社会などを通して、北アメリカ州の特色を考えさせ、北アメリカ州が、農業や工業、金融など、さまざまな分野で世界をリードし、世界に大きな影響を与えていることを理解させる」ことをねらいとしている。

北アメリカ州には、広大で豊かな自然があり、多様な気候が見られる。その豊かで多様な自然を背景に、先住民や、移民などによって開拓が進められてきた。また、多様な自然と気候を背景にして、適地適作の大規模農業が行われ、世界最大の農業輸出国として、生産状況や価格の変動などが世界にあたる影響は大きい。さらに、工業の分野においては、航空機、ロケット、コンピュータなどの先端技術産業が盛んに行われ、それらの巨大企業が、豊富な資金を使って新しい製品や技術を開発し、世界に大きな影響を及ぼしている。また、金融においても、近年のサブプライムローンの経営の行き詰まりが、瞬時にして世界的な経済危機を引き起こしている。文化においては、コンビニエンスストアやショッピングセンター、ファーストフード、ジャズ、ロック、スポーツなど、アメリカ文化は世界のいたるところに浸透している。

以上のように、産業や経済などの面で世界をリードしている北アメリカの現状から、「世界に与える影響力」を主題とし、北アメリカの地域的特色を追究していきたい。

（2）生徒について

生徒の様子を見るとニュースや新聞、地理に関する書籍などに接する機会が少なく、社会的な知識が乏しい生徒が多い。これまで世界の諸地域に関わっては、アジア州やヨーロッパ州などの学習を行ってきた。中国の学習では、最近おこった反日運動や知的財産権をめぐる問題など偏った一面的な知識だけをもち、それだけで、中国に対するマイナスイメージをつくっている生徒が多くいると感じられた。韓国についても同様で、竹島問題から、マイナスイメージをもっている生徒が多く、限られた情報のみから判断し、一面的なイメージをもっている生徒が多く見られた。一方で、ヨーロッパ州については、ほとんど知識がなく、漠然としたイメージすらもてていない生徒が多くいるなど望ましい力が身につけているとは言えない。

授業では、基礎的・基本的な知識を問う一問一答的な学習では比較的反応が良く、積極的に手を挙げて発言する生徒が多くなってきた。資料活用については、地図帳を活用しての白地図作業などを苦手とする生徒が多く、地図をじっくりと見ることの経験不足が感じられた。また、特に苦手になっていることは、社会的事象についての特色をとらえて説明したり、自分の考えを論述したりする活動である。これらについては、ほとんどの生徒が苦手としている。例えば、中国の豊かな資源や、経済特区制度、郷鎮企業の存在、消費者としての中国などについて学習した後であっても、中国で経済が発展した理由について説明することがなかなかできずにいる。これは、学習したことを関連づけて説明する力が不足していることのとらえられる。

しかし、授業で初めて知ったことには、新鮮な驚きを素直に表現する生徒も多い。そのような知的な好奇心を大切にしながら、基礎的・基本的な知識を習得させ、それらを活用して社会的事象について、多面的・多角的にとらえる力を伸ばしていきたいと考える。

（3）指導について

生徒がこれから生きていく世界では、さまざまな面でのグローバル化が進むことが予想される。そのような中で、世界の諸地域について基礎的・基本的な知識を習得するとともに、世界の諸地域についての情報を適切に読み取り、読み取った情報を関連させることで地理的認識を深めたり、多面的・多角的に考える力を身につけたりすることが必要不可欠である。そのような力を身につけることができるようにするために、生徒にとって身近であり、興味をもてるような資料を活用して、生徒の学習意欲を高め、課題を設定し、追究する学習を展開したい。

授業を展開するにあたっては、学習課題について調べる際に、統計資料やグラフ、地図、写真など、様々な資料から事実を読み取ったり、各資料を関連させて課題について考えたりすることで、生徒の情報を収集し分析する力を高めていきたい。また、その際には、読み取った内容を、自分の言葉で説明する活動を行うことで、生徒の説明する力も伸ばしていきたい。以上の活動で得られた基礎的・基本的な知識を活用して、さらに、地理的特色についての認識を深められるような問いについて考えさせ、互いに交流させることで、生徒の思考力や判断力を高めていきたい。最後には、課題についてのまとめを文章で表現させる活動を通して、世界の諸地域についてのイメージを構成させ、世界の地理的認識を深めることができるようにしていきたいと考える。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

北アメリカ州の地勢や国々、産業や経済、文化などについて地図や各種の具体的資料を効果的に活用して調べることを通して、北アメリカ州の地理的特色について理解するとともに、その背景や理由、世界に対する影響について考えることができる。

(2) 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象について 知識・理解
北アメリカ州の、地理的特色に対する関心を高め、意欲的に調べている。	北アメリカ州の、地理的特色の背景や理由、世界に対する影響について考え、適切に表現している。	北アメリカ州の地理的特色に関する資料を収集し、適切に選択して情報を読み取ったり、ノートにまとめたりしている。	北アメリカ州の地勢や国々、農業、工業、経済、文化などの地理的特色について理解している。

(3) 知識の構造図

<p>【学習指導要領との関連】 内容 (1) 世界のさまざまな地域 ウ 世界の諸地域 世界の諸地域について、以下の (ア) ~ (カ) の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に、主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。 (エ) 北アメリカ</p>
--

<p>【中心概念】 北アメリカ州は、産業や経済などの面で現代の世界をリードすることによって、世界に大きな影響力をもっている。</p>
--

【具体的知識】					
<p>① ・北アメリカ州は、多様な地形と気候を特色とする州である。 ・北アメリカ州は、先住民と移民が開拓した州である。</p>	<p>② ・アメリカ合衆国では、適地適作や企業的な農業経営がおこなわれ、世界最大の農産物輸出国となっている。</p>	<p>③ ・アメリカ合衆国では、資源を生かした重化学工業や、先端技術を活かした産業が発達している。</p>	<p>④ ・アメリカ合衆国は、巨大な多国籍企業が経済活動を行い、アメリカ合衆国の経済や金融は世界に大きな影響を及ぼしている。</p>	<p>⑤ ・アメリカ合衆国では大都市が形成され、自動車が欠かせない交通手段となっている。 ・アメリカ合衆国の合理的な文化は、世界中に影響をあたえている。</p>	<p>⑥ ・多民族国家であるアメリカ・カナダは、多様な文化をもつとともに、人種差別や貧困などの課題を抱えている。</p>

【基本用語等】					
<ul style="list-style-type: none"> 日本の2.5倍の面積 多様な自然と気候 先住民 移民 奴隷 開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 国土の大半が農地 世界最大の農産物輸出国 企業的大農場 アグリビジネス 適地適作 近郊農業 	<ul style="list-style-type: none"> 五大湖 グローバル化 先端技術産業 サンベルト シリコンバレー 	<ul style="list-style-type: none"> 国際石油資本 (メジャーズ) 資源メジャー 多国籍企業 金融 サブプライムローン 	<ul style="list-style-type: none"> 都市化 スラム ヒスパニック 再開発 アメリカ文化 	<ul style="list-style-type: none"> 奴隷制 人種差別 貧困 多文化主義

(4) 単元の展開

時	目 標	主な学習活動・内容	主な資料	評価規準と評価方法
1	北アメリカ州の地勢図を調べ、州の自然環境を大観するとともに、主な地名や国々の位置と名称、歴史を理解することができる。	<p>(1) アメリカの多様な自然の写真を観察して、感想を話し合い、アメリカ合衆国への関心を高める。</p> <p>(2) 北アメリカ州を構成する国、地形、気候を地図帳、教科書を使って調べる。</p> <p>(3) 北アメリカ州の人々がどのような生活をしているのかまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>〈単元の学習課題〉 北アメリカ州は、産業や経済などの面で現代の世界をリードすることによって、世界にどのような影響をあたえているのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・地形、風景（写真） ・北アメリカ州地図 ・北アメリカ州（白地図） 	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称、気候を調べ、理解している。 【知識・理解】 →ワークシート ・北アメリカの歴史や自然、国について関心を高め、意欲的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度】 →ワークシート・発言
2	アメリカ合衆国は自然環境を生かした適地適作の大規模な農業経営を行うことで、世界最大の農業輸出国になっていることを理解することができる。	<p>(1) 写真資料からアメリカの農地と農作業の様子について話し合う。</p> <p>(2) 農業地域の分布図と、日本とアメリカの農業の比較から、アメリカ合衆国の農業の特色を調べる。</p> <p>(3) アメリカ合衆国の農業の特色と広大で多様な自然環境との関連について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地（写真） ・農作業（写真） ・農業地域の分布 ・日本とアメリカの農業比較（表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・適地適作や大規模農業などアメリカの農業の特色について理解している。 【知識・理解】 →ノート・発言 ・アメリカの農業と自然環境の関わりについて、資料を関連させて読み取り、まとめている。 【技能】 →ノート・発言
3 本時	アメリカ合衆国の工業生産と工業地域の特色について調べ、アメリカ合衆国で工業が発達した背景について考えることができる。	<p>(1) 主な国の工業付加価値額から、アメリカの工業の様子について話し合う。</p> <p>(2) アメリカ合衆国の工業が、どのような特色をもっているのかを各種資料から調べる。</p> <p>(3) なぜ、アメリカ合衆国では、先端技術産業がさかんなのか、自分の考えをまとめ、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主な国の工業付加価値額 ・主な国の航空機・宇宙産業売上高 ・シリコンバレーの民族構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの工業の特色やその背景について考え、まとめている。 【思考・判断・表現】 →ノート
4	アメリカ合衆国の経済や金融の特色について調べ、世界に与える影響について理解することができる。	<p>(1) サブプライムローン問題から、アメリカ経済の世界に与える影響について話し合う。</p> <p>(2) 多国籍企業の活動について調べる。</p> <p>(3) アメリカの経済や金融が世界にどのような影響をあたえているか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サブプライムローン（新聞） ・マクドナルドの世界分布図 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの経済や金融が、世界に与える影響を、資料から調べ、まとめている。 【技能】 →ノート・発言
5	アメリカ合衆国の都市生活や合理的な文化の特色を調べ、世界中に影響をあたえていることを理解することができる。	<p>(1) 私たちの日常生活に影響をあたえているアメリカ文化について話し合う。</p> <p>(2) アメリカ文化について調べる。</p> <p>(3) アメリカ文化の特色についてまとめ、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ文化（表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ文化について関心を高め、意欲的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度】 →ノート・発言 ・アメリカ文化の特色について考え、まとめたり発表したりしている。 【思考・判断・表現】 →ノート・発言
6	人種差別や貧困の問題について調べ、多民族・多文化社会の特色について考えることができる。	<p>(1) 北アメリカ州における人種差別と貧困の実態をとらえる。</p> <p>(2) 多民族・多文化社会の特色について調べる。</p> <p>(3) 人種差別と貧困をなくすためには、どうしたらよいかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人種差別（ビデオ） ・現代の人種差別（新聞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・多民族・多文化が共存するためにはどのような課題があるか考え、まとめている。 【思考・判断・表現】 →ノート

4 本時の指導

(1) 目標

アメリカ合衆国の工業生産と工業地域の特色について調べ、アメリカ合衆国で工業が発達した背景について考えることができる。

(2) 評価

評価の観点	評価方法	努力を要する生徒への手だて
社会的な思考・判断・表現	・ノートの記事内容から、「アメリカの工業の変化にふれながら、アメリカの工業の特色とその背景についてまとめているか」を評価する。	・5の場面で、板書や資料をふりかえらせ、キーワードをもとにしながらい記述できるようにする。

(3) 展開

	学習活動と内容	指導上の留意点等	◇資料
導入 10分	1 資料①『主な国の工業製品の付加価値額』から、アメリカの工業が盛んであることを読み取り、アメリカでどのような工業が行われているか調べる学習課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味関心を高めるために、どこの国の工業がさかんなのか予想させながら確認する。 ・アメリカの工業製品の付加価値額が高いことに着目させ、そこから、アメリカで行われている工業について問題意識をもたせていきたい。 	◇①『主な国の工業製品の付加価値額』
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">アメリカでは、どのような工業がさかんなのだろう。</div>			
展開 30分	<p>2 課題について予想する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産額が高い重化学工業が盛んではないか。 ・自動車産業が盛んなことをニュースで見たことがある。 ・アップル社などが活躍しているので、コンピューター関係が盛んではないか。 <p>3 『教科書』や『地図帳』から、アメリカで盛んな工業や工業地域を調べる。</p> <p>(1) 盛んな工業や工業地域を調べ、ノートにまとめる。</p> <p>(2) 調べたことを交流し、アメリカで盛んな工業や工業地域について確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五大湖沿岸で自動車工業、鉄鋼業が盛んである。 ・その背景に水運や水資源、鉄鉱石や炭田などの資源がある。 ・南部や西部で、航空機、ロケット、コンピュータなどの先端技術産業が盛んである。 ・先端技術産業は軍需産業などの技術によって発展した。 ・工業地域がこの50年で大きく変化し、サンベルトに新しい工業地域が広がっている。 石油化学工業（メキシコ湾岸） 宇宙産業（ヒューストンやフロリダ半島） 半導体やコンピュータ（テキサス州） 航空機産業（ロサンゼルスやシアトル） 世界最大の先端技術産業（シリコンバレー） <p>4 調べたことや資料⑥『主な国の自動車生産の変遷』、資料⑦『科学技術関連研究費』、資料⑧『シリコンバレーの民族構成』から先端技術産業が盛んになったわけを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄鋼や自動車産業の競争力の低下 ・豊富な資金 ・世界からあつまる研究者 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想は板書で整理し、追究の見通しをもつことができるようにする。 ・教科書と教科用図書（地図帳）を有効に活用して、課題について調べることができるようにする。 ・発表されたことを板書で整理し、どこで、どんな工業が盛んなのかを明確にできるようにする。 ・資料②『アメリカ合衆国とカナダの主な鉱工業』、資料③『航空・宇宙産業売上高』、資料④『ソフトウェア販売会社ランキング』を提示し、アメリカで盛んな工業や工業地域について発表されたことを、全体で確認できるようにする。 ・五大湖沿岸の資源と工業の関わりについては、ヨーロッパの工業を想起させながら解決する。 ・資料⑤『アメリカの地域別工業生産額の割合の変化』を提示し、年代による工業地域の変化を具体的にとらえることができるようにする。 ・3でアメリカの工業の特色をとらえた上で、現在のアメリカ合衆国の主要工業が先端技術産業であることを確認し、その背景について資料を関連させながら考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇②『アメリカ合衆国とカナダの主な鉱工業』 ◇③『航空・宇宙産業売上高』 ◇④『ソフトウェア販売会社ランキング』 ◇⑤『アメリカの地域別工業生産額の割合の変化』 ◇⑥『主な国の自動車生産の変遷』 ◇⑦『科学技術関連研究費』 ◇⑧『シリコンバレーの民族構成』
まとめ 10分	5 学習を振り返り、学習課題についてわかったことをまとめる。 「アメリカの工業は、元々は自動車産業や鉄鋼業が中心だったけれど、外国の自動車に押されておとろえてきている。しかし、政府が科学技術に予算を多く使ったり、外国の優れた研究者や技術者が、アメリカに集まったりすることにより、現在では、先端技術産業が盛んになっている。」	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の工業の特色と背景について、アメリカ合衆国の工業の変化に触れながら、まとめるようにうながす。 ※ノートの記述内容から「社会的な思考・判断・表現」について評価する。 	